

### 水田その他（水田畦畔）

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
草枯らしM I C	グリホサートイソプロピルアミン塩	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期)	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
ザクサ液剤	グリホサートPナトリウム塩	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期)	雑草茎葉散布
バスタ液剤	グリホサート	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期:草丈30cm以下)	雑草茎葉散布
プリグロックスL	ジクワット・パラコート	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	一年生及び多年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期)	雑草茎葉散布
		一年生雑草		
		多年生雑草		
		スギナ		
ワンサイドP乳剤	フルアジホップP	一年生イネ科雑草 キヌカスゞメノヒエ	雑草生育期（草丈30cm以下） 但し、収穫120日前まで	雑草茎葉散布
(注意事項)				
(1)雑草を過度に枯殺することにより、畦畔が崩壊することがないように使用量(薬量)に注意する。また、畦畔が崩壊する恐れのある場所では抑草剤を使用する。				
(2)夏雑草、冬雑草のそれぞれの生育初期、雑草の生え揃った頃の効果が大きい。				
(3)プリグロックスLに展着剤を加用する場合は、非イオン系を使用する。また、曇天か夕方を選んで処理すると効果が大きい。				
(4)ワンサイドP乳剤は遅効性である。				

### 水田その他（休耕田）

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
草枯らしM I C	グリホサートイソプロピルアミン塩	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
タッチダウンi Q	グリホサートカリウム塩	一年生雑草	雑草生育期（草丈50cm以下）	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
バスタ液剤	グリホサート	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期（草丈50cm以下）	雑草茎葉散布
プリグロックスL	ジクワット・パラコート	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
ラウンドアップマックスロード	グリホサートカリウム塩	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
		スギナ		
(注意事項)				
(1)夏雑草、冬雑草のそれぞれの生育初期、雑草の生え揃った頃の効果が大きい。				
(2)プリグロックスLに展着剤を加用する場合は、非イオン系を使用する。また、曇天か夕方を選んで処理すると効果が大きい。				

### 水田その他（水田刈跡又は水稲刈跡）

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
草枯らしMIC	グリホサートイソプロピルアミン塩	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
クロレートS	塩素酸ナトリウム	一年生雑草 多年生イネ科雑草	水稲刈取後 (秋期雑草生育期)	水稲刈取跡に全面 土壌散布
		モダカ		
タッチダウンiQ	グリホサートカリウム塩	一年生雑草	水田作物刈取後 (雑草生育期)	雑草茎葉散布
		多年生雑草 モダカ クダライ キョウチクトウ		
バスタ液剤	グリホサート	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
ラウンドアップ マックスロード	グリホサートカリウム塩	一年生雑草	雑草生育期	雑草茎葉散布
		多年生雑草		
(注意事項)				
<p>(1)夏雑草、冬雑草のそれぞれの生育初期、雑草の生え揃った頃の効果が大きい。</p> <p>(2)クロレートSは以下の他、注意事項をよく確認して使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水良好な一毛作水田で使用し、散布後は20日程度おいてから耕うんする。</li> <li>・飛散、流出によって、有用植物に薬害を生じないように注意する。</li> <li>・有効成分は約3か月で分解するが、安全を見て6か月経ってから播種や定植を行う。</li> <li>・薬剤のしみこんだ作業着は燃えやすくなっているので、作業後水洗いをする。</li> <li>・保管は、火気・衝撃及び可燃物に接触しないようにする他、家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので注意する。また、散布直後の散布地への家畜の放飼は行わない。</li> </ul>				

### 水田畦畔抑草剤

農薬の名称	成分	適用雑草名	使用時期	使用方法
グラスショット液剤	ピスピリバクナトリウム塩	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育初期(草丈10cm)及び草刈り後10～20日の雑草再生期 (但し、収穫前日まで)	雑草茎葉散布
		イボクサ	生育期 (但し、収穫前日まで)	
(注意事項)				
<p>(1)抑草剤であるため完全に故殺するものではなく、抑草期間は高温期(夏期)は短く、低温期(春・秋期)は長い。</p> <p>(2)水稲には直接かからないようにし、また飛散・流入による周辺作物への影響に、十分に注意する。</p> <p>(3)草種によって抑草効果に差があるので、事前に草種を調べ、試し散布等により畦畔の崩壊の危険性や効果について確認を行う。</p> <p>(4)グラスショット液剤の本県での効果の目安</p> <p>①春期(3～5月)、秋期(8～10月) 抑草期間の目安:50～60日間</p> <p>②夏期(6～7月) 抑草期間の目安:30～40日間</p>				